

科目名	教育実習指導						
	【幼稚園教諭二種必修】						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	前期	単位数	1単位
担当教員	渡辺 一弘・渡部 琢也・葉山 亮三・橋本 希義						

内容および計画	この授業では、幼稚園の果たす役割や運営など、幼稚園を理解するとともに、実習の意義と目的についての授業を通して、実習に対する心構えをもたせる。そして、幼児教育の基礎となる幼児の健康な心身の発達を促すために必要な知識と、幼児が自ら健康で安全な生活を作り出す生活習慣や態度を習得することの意義や重要性について学習する。また、幼児の体格や運動能力発達の現状と問題点を踏まえて、楽しい運動遊びを促すことや安全教育と安全管理の方法について理解する。
1	ガイダンス
2	教育実習の意義と目的の理解
3	実習幼稚園の研究
4	実習課題（実習目標）について
5	幼稚園での子ども理解について
6	実習の記録、実習日誌について
7	教材研究（1）手遊び、読み聞かせ、製作等について
8	教材研究（2）グループワーク
9	指導案の作成法（1）責任実習指導案（部分案）の作成
10	指導案の作成法（2）責任実習指導案（部分案）のグループワーク
11	教育実習事後指導（1）実習の振り返り
12	教育実習事後指導（2）実習の省察
13	教育実習事後指導（3）グループ討論
14	教育実習事後指導（4）事例検討
15	まとめ

教科書	『幼稚園教育要領』文部科学省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省（*1年の保育原理で購入済み） その他、適宜、資料配布
-----	--

参考書	『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省（*1年の保育原理で購入済み）
-----	---

成績評価	評価方法	割合
	講義中の課題実施及び提出状況とその内容	60%
	期末課題の提出状況とその内容	40%

学習到達目標	この授業では、事前指導として、教育実習の意義と目的を理解し、実習において必要な知識・技術・倫理を修得するとともに、実習生が明確な実習課題に基づき、実習が実施できるように、子ども理解、実習記録の意義、指導案の意義と計画立案の方法等々について学ぶ。事後指導として、実習の振り返りと省察を行い、グループ討論や事例検討を基に、実習における学びを整理し、残された課題を明確化し、学びを深める。
--------	---

先修条件	
------	--

その他	
-----	--